



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

例会日

1989. 2 . 7

累計 No 110

当年 No 31

会長／梨本 清一

幹事／今井 克義

SAA／米山 忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： クラブフォーラム ロータリー財団説明会 本間建雄美君

出席： 本日の出席 44名中33名

先週の出席率 44名中40名 90.91%

1月の出席 会員数44名 例会数4回 出席率89.77%

先週のメークアップ： 2月1日 三条RCへ 今井克義君 石川勝行君 村山誠一君

2月6日 三条南RCへ 山上茂夫君 鈴木英友君

ビジター： 加茂RCより 野本正次君

三条RCより 大谷幸平君 熊倉昌平君 渡辺喜彦君

三条南RCより 橋本和雄君 佐藤 譲君

会長挨拶： 梨本清一

本日は、ご覧のように今井幹事がお休みであります。今井幹事が例会をお休みになるということは、私と会長幹事のタッグを組みまして初めての出来事であります。責任感の強い今井幹事です。よほどのご用があったのでしょうか。人間同志の出会いというのは魔可不思議なものでありまして、見知らぬ人との出会いが自分に影響力を与え、或いは親友となり、或いは師となり、人生の設計図すら変えてしまいます。今井幹事とはお互いに知らない間柄でしたが、ふとした出会いから、北RC創設のお手伝いをお願いし、今では北RCで亭主と女房との間柄であります。そう言えば、今井君ひとりではなく、北RCの大部分の皆さんとの出会いがこのクラブを通じての出会いであります。お一人おひとりが、あなただけにしかない素晴らしい個性をもった人たちの集りです。私は、一度に沢山の素晴らしい友人と、素晴らしい師に恵まれました。私はいつもリッチであります。先日、新会員の山口龍二君の会社遊びに行きまして参りました。多忙の彼が、私のために時間を裂いて、懇切丁寧に工場を案内して下さいました。いやはや、最新鋭のコンピューターやロボットを駆使した近代設備にはびっくりいたしました。工場見学はシークレットですか？とお聞きしたら、どなたでもどんどん見せているそうで、それは他人にどうせ真似が出来ないだろうから、とい

より日本から海外に留学した大学生、大学院生その他の累計は2,521人いらっしゃいます。次に昨年7月より一年間日本より海外留学中の同財団奨学生総数272人です。財団が出来て以来、海外から日本に留学した外国人財団奨学生総数341名です。次今年度海外から日本に留学中の外国人財団奨学生44名、注意として財団奨学金は会員の子弟近親者には授与されない、そのように書いてございます。一応ただ今読み上げたのはロータリー財団奨学金事業の方から現に支出されている項目であるということです。これから高校生の国際交流国際交換留学事業、これについては1959年以降日本から海外に留学したロータリー交換高校生総数は約3,280名。同年以降海外から日本に留学したロータリー交換高校生総数は3,270名で約同じ位ですね。現在年間約500人日本側よりこの半数の高校生が交換留学中とのことです。まだロータリー米山記念とか直接海外援助事業それからポリオプラスキャンペーンと各項目がございまして、やはり相当金額の援助基金というのが支出されています。こんな風で現実にそうやって皆さまからいただいた善意あるそういう基金というものが実際に世界にばらまかれているというか、活躍しているんだということをひとつ御理解いただいてロータリー財団をひとつよろしくお願ひしたいと思います。私共のロータリー財団月間、11月一番にお話ししましたが、こういう機会を持った時に皆さんに一口お願ひしたいと思います。BOXをおまわします。ひとつよろしくお願ひします。最後にちょっとだけ五十嵐さんに調べていただいたんですが皆さんから財団に御寄附願っている金額を御報告させていただきます。ポリオプラスに関しては年間8,000円10&3でいいですね。それから入学祝の件につきまして前年度財団の方からこれをいただきましてまたそれを提唱しているような状態でやらしてもらっています。事務局さんに御相談して作っていただきました。それでこれから卒業、入学と色々忙しいと思いますが、その時期になりましたらお忘れなくよろしくお願ひしたいと思います。ただ今言ったのは一括して財団の方に入ります。ここが私の一番心苦しい所です。北ロータリーとして活用出来るそういうお金がございませぬのでその点だけちょっとおかんがえの上よろしくお願ひしたいと思います。あとポールハリスフェローにただ今何とか寄附したいんだけど税金がかかるとか、困ったなあという人のためにちょっと御報告させていただきます。一応ポールハリスフェロー1,000ドル以上これが1ドル今122円のレートで換算されています。1,000ドルで122円で122,000円ですが、これの内10,000円だけ引いて112,000円だけが経費扱いで処理できるということです。それから準フェローについて1,000ドルあと残高を10年間に分割するということはこれについては今度は逆にこれについては私もちょっと学がないもんですから読めません。事務局の方でちょっとお聞きになって下さい。そういう事でポール・ハリスフェロー、ポール・準フェロー考えようによっては気持ちよく出せるんじゃないかと……そういう事で皆さんお待ちしておりますのでよろしくお願ひします。ちなみにポールハリスフェローになられてる方は今2名ございます。これは本人によく聞かないと余りでたためることも言えませぬので、またそういう方もいらっしゃるということを御報告させていただきます。

2月14日例会： 卓話 高橋彰夫君「中国の話」

2月21日例会： 卓話 山上茂夫君「仕事の話」

うことでありました。昨年のローカル紙に「創業10年で年商15億円」の見出しで紹介されておりました。詳しいことは触れませんが、山口君のお話の中で大変印象に残った会話がございましたので、ひとつだけご紹介しようと思います。それは、三条で山口君が社長をしている3つの会社がありますが、それぞれの社員に社長が言っていることは、「お互い社員同志、顔をみても挨拶をするな、フン、／と言ってよそっ面をみよ」と言う言葉であります。正に山口龍二哲学の面白躍如というところであります。それが、工場を見学しながら、社員同志が、社員と社長との人間関係が大変温かで和やかに伝わってくるだけに、そのひと言の持つ意味が重く、偉大に伝わってきたのであります。あとは山口君の卓話の時間のために楽しみにとおきましょう。三条北RCの会員は素晴らしい人たちの集りであります。この出会いをいつまでも大切に育て上げて行きたいものであります。

幹事報告： 稲田副幹事

◇高崎南RC例会曜日変更 1989年2月より金曜日を火曜日に

◇村上RC30周年記念式典の案内 日時 10月22日(日) 会場 村上市民会館（瀬波温泉）

◇1989～90年全国会員名簿、ロータリー手帳買上のお願いが来ています。

◇ロータリー米山記念奨学会より寄付金明細表の送付がありました。

◇1987～88年ロータリー年次報告がロータリーの友事務所より送付されてきました。

◇ガバナー会発行の歴代ガバナー名簿の送付がありました。

ニコニコBOX：

佐藤 謙 君（三条南クラブ）突然のメーキャップをさせて頂き、失礼致します。

佐藤啓策君 用がありますので、途中で中座させて頂き下さい。

吉川吉彦君 本日は結婚記念日です。16年の過去をしばしひたっております。又、先日のコンペ優勝させていただき大変ありがとうございました。

粉川昭蔵君 三商21会の新年同級会も43回をむかえましたが、還暦の為か出席者が増えていきます。

卓話： 本間建雄美君



一応11月にロータリー財団の月間期間というのがございましたが、その時は色々例会に出さしていただけるという余裕がございませんでした。村山さんにお願いして財団の話をちょっとしたんだがということをお願いしておきましたんで、ようやくその時間がとれました。ちょっと時間が一杯ありますんで眠い方はそれこそ中條さんの言葉じゃないですけどもお休みになってもけっこうだと思います。けれども要求するお願いする段になりますと、これという言い訳もみませんのでその節は宜しく願います。財団の内容うんぬん言う

前に、2月に丁度世界理解精神月間ですが、これで中條さんが御説明していただいた事で私もホッ

としたんですが、そういう具合に今日はロータリー財団の内容が余りにも広範囲なもんですから、今日の皆さまに知っていただくためにロータリーの活力源となっているロータリー入門をもう1回読まさせていただきます。ロータリー財団とは、入門の時これをいただいて読んだんですが、何が何だかその時はわかりませんでした。今も解かりません。そんなもんですからこれを順番に読まさせていただきます。ロータリー財団は非営利財団法人で貧しい人々や有意義なプロジェクトに対して世界各地で人道主義に裏付けられた補助金を支給し、奨学生や教員、実業人及び専門職業人の国際交流に教育補助を支給しています。ロータリー財団の目標は人道的プログラム及び教育プログラムに助成金を授与することによって、世界の人々の間に理解と交友関係を増進する役目をしています。そのどのような方法で支援されているかということでロータリークラブ、ロータリアン及び一般の人の自発的寄附によって支援されています。あくまでも本人の意志でやっていただきたいと書いてございます。財団プログラムの継続的な事でしかも年々増大するニーズに対処するため、より一層の贈与、寄贈等が強く望まれています。こういう具合に書いてございます。それでこのロータリー財団ここには私共の所はロータリー財団という具合にして分離されてますが財団の活動部分には色々な部門がございまして、そこに入り込むかもわかりませんので、その節は宜しく願います。一応こういう具合にあつめられた資金がロータリー財団の活動に金銭的に援助しているということです。その中にどのようなプログラムがありますかという部門で1、奨学金、それから大学教員のための補助金、研究グループの交換、特別補助金、保険、きが追放及び人間性尊重補助金、次にポリオプラスプログラム災害援助、救援です。ロータリー平和会議、今ただ今読み上げたのが8項目ございますが、その外にもまだ色々あるらしくて数を数えれば切りがないというそういう部門について活動資金、これを本部の方から援助しているということです。この寄附金の中に大口寄附金これが一応ポール・ハリス・フェローという名前で又、ポール・ハリス・準フェローという名前で項目入ってございます。ポール・ハリス・フェローについて1年間に半価1,000ドル以上又は、相当額を寄附した個人、あるいは人の名義で寄附された場合その名義人がポール・ハリス・フェローとして表彰されます。1,000ドル以上の場合ただ今1月現在で1ドル122円のレートがついているそうです。これも又、一番円高の関係もございましていいチャンスじゃないかということでひとつ宜しく願いたいと思います。ポール・ハリス・準フェロー最初に1,000ドル以上寄附しよていの1,000ドルの額を10年間以内に寄附する意図をあきらかにした人、又はある人のためにその寄附が行なれた場合、その名義人がポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・準フェローと認定されます。一応準・フェローの場合は最初100ドル以上寄附し、残額を10年以内に分割で寄附されれば準フェローに該当すると書いてございます。ただ今こちらのロータリー年次報告、これすばらしい一番あたらしい数字がのっている人ですが、これ数字は数字としてこれでいいんですが今まで財団としてロータリー財団が一応ロータリー財団として今まで寄附というか援助してきたその実績がロータリーの友の1月号にのっております。日本のロータリーの主要実績、ロータリー財団奨学金事業、こちらの方では1947年奨学金事業開始以来団財団への日本のRC会員の寄附金累計金額は約8425万ドル財団はやっぱりこういう具合にやっているんだというのを皆さんに御報告しないとただお金をどうのこうの言っても又、言う方も大変ですし出す方も大変だと思ひまして一応御報告さしてもらっている訳です。奨学金の方で1987年88年度の日本の会員の寄附金相額約1,822万ドル、この中にはポリオプラス1,200万ドルも含むと書いてございます。それから同財団の奨学金に